

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和6年度学校評価 結果・学校関係者評価

学校名 小城市立小中一貫校芦刈観瀾校

達成度(評価) A:十分達成できている B:おおむね達成できている C:やや不十分である D:不十分である

1 前年度 評価結果の概要 ・学習規律の確立のために、「学びの7本柱」を粘り強く指導したことで、学習に前向きに取り組む児童生徒が増えた。標準学力検査(CRT)の結果において、ほとんどの学年・教科で前年度より伸びが見られたものの、課題も残った。職員一人一人の授業力向上と学習規律「学びの7本柱」のさらなる定着に向けて全職員で取り組むことで、学力向上を図る。

2 学校教育目標 ふるさとを愛し、未来を拓く、心身ともに元気な子どもの育成 ～「ともに」「つなぐ」小中一貫教育～

3 本年度の重点目標 ◆学力向上 ◆豊かな心の育成 ◆多様な活動を促進するための教育活動や働き方の見直し ◆生徒指導体制の確立 ◆保護者・地域連携の推進 ◆小中一貫教育の成果の確認 ◆基本的生活習慣の確立と体力の向上

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目 Table with columns: 重点取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価. Includes rows for 学力の向上, 心の教育, 健康・体づくり, 特別支援教育の充実.

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目 Table with columns: 重点取組, 中間評価, 最終評価, 学校関係者評価. Includes rows for 小中一貫教育の充実・活性化, コミュニティ・スクールの推進.

5 総合評価・次年度への展望 ・昨年度に続き「学びの7本柱」について粘り強く指導してきたことで、標準学力検査(CRT)の結果において、ほとんどの学年・教科で前年度より伸びが見られた。今後は、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、学習者が主体となる授業改善に取り組んでいく必要がある。